

アイテム

アートな伊丹を「観る・行く・体験」

アイテム

特集
昆虫館のヒミツ。

春なので、
そわそわ
してみませんか？

本で解決！
お悩み
相談室

部活でイジメにあっています。
どうすればいいですか？ (p>□<q*)

(アンパンマンさんとねこちゃんさん)

明るく楽しいお悩み募集中 図書館南分館まで！



本のことなら
おまかせ！
みなみさん

みなみさんの
オススメ本



「みんなのなやみ」
重松清・著
(理論社)

それはほんとに由々しき問題ね。イジメを解決したい気持ちは大事よ。でもイジメが起こるのはどうしてかを考えるのも大事だと思うの。この本にはいろいろ悩みがのってるわ。「みんなのなやみ」を知って、あなたはひとりじゃないって気持ちになったら、イジメのこと誰かに話してみましよう。

部活でイジメだって？許せねえな！オレは辛い事や悲しい事があった時は、気楽に笑える本を読んだ。そうすると頭が日常から離れて、少しは楽しい気分になれるぞ。それでもダメな時は、オレは勇気を出して周りの大人に相談するんだ。それもムリな時は思いきってやな事から逃げちゃうぞ！

ぶんたくんの
オススメ本



「もこのまんねん日記
2012」
さくらももこ・著
(集英社)



図書館大好き！
ぶんたくん

ラストホール1Fの図書館
伊丹市立図書館 南分館

南野 2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム

2013年4月1日発行(季刊春号・通巻75号)
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団
編集・デザイン/平井和哉(0.1knot)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
いたみホール(伊丹市立文化会館)内
tel.072-778-8788 fax.072-778-8585
http://hocweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/
e-mail itami-kikaku@ccb.bai.ne.jp



美術館 / 「棚田康司「たちのぼる。」展」
(4/6 ~ 5/26) 5組10名様 ※締切/4月30日

プレゼント!
プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

みやのまえ
文化の島
美術館
工芸センター
伊丹郷町館
柿衛文庫

2013.4.6

春号

公益財団法人 伊丹市文化振興財団

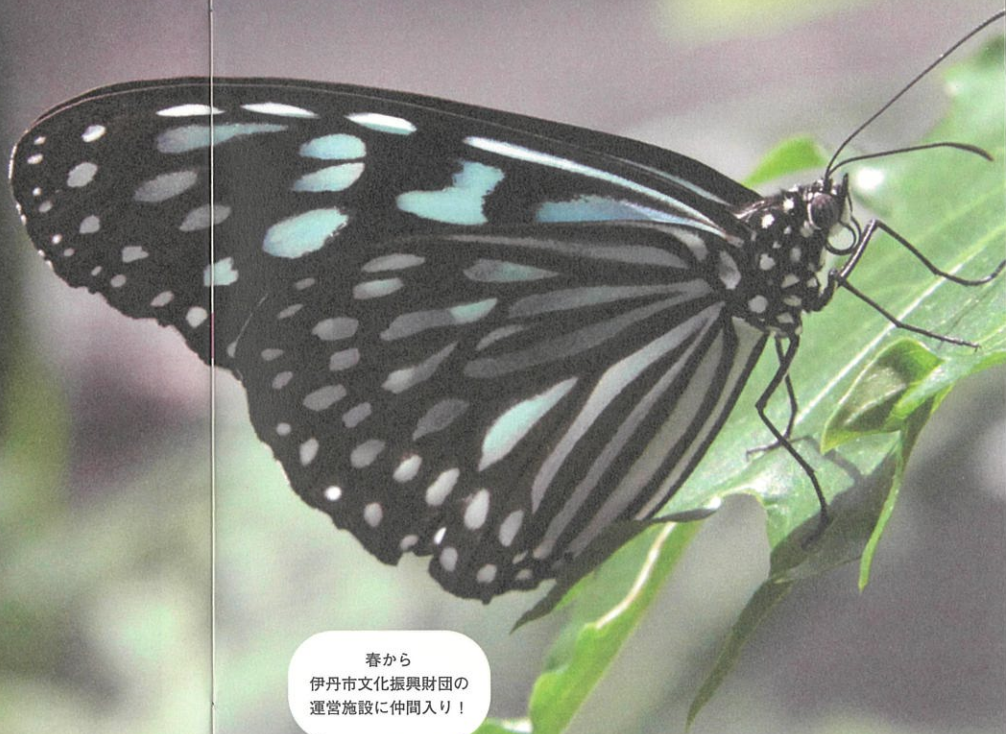
TAKE FREE

バックヤードの凄さに
のたうちまわる

伊丹市民にはおなじみの「伊丹市昆虫館」。一回は行ったことがある、って人は結構多いはずだ。けれど、隅々まで知り尽くしてると、ぜ！って人はそんなに多くないんじゃないかな。

そこで今回アイテムは、昆虫館の隅々どころか、普段は立ち入ることのできないバックヤードを徹底調査。そこで改めて知った昆虫館の驚愕の実態(大げさ)をレポートしよう。

ホンマ凄いですよ、マジで。



春から
伊丹市文化振興財団の
運営施設に仲間入り！

昆虫館の 特集 ヒミツ。

チョウ温室でひと休みする
「リュウキュウアサギマダラ」。
昆虫館にはこの他にも
通年14種類1000匹のチョウが
温室に放されている。

ヒミツ! そしてチョウへ



恒温室で育てられた幼虫・さなぎもやがてチョウへと成長します。昆虫館では、だいたい一日に40匹くらい成虫になります。そして毎日午後2時になったら来館者の皆さんの手で温室にチョウを放つイベントをしているよ。ちなみに右の写真は、ちょうど取材中に羽化したチョウ。貴重な瞬間!



ヒミツ! チョウの産卵



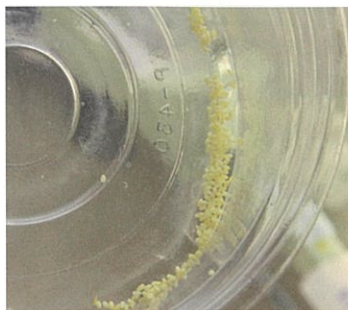
温室で飛び回るチョウたちも自然に結婚(交尾)相手を見つけ、産卵します。チョウは決まった植物の葉っぱでしか産卵しません。温室には「たまごを産む植物」の植木鉢を見えるところに置いてあるから、注意深くみてみよう。左の写真のように産卵の瞬間を見ることができるとは、素晴らしいよ。黄色いたまご、見えるかな?



ヒミツ! そしてまた、卵を孵す



こうやってせっかく産まれた卵なんだけど、実は全部を育てるわけにはいかないの。限られた場所でもより良い環境で育てるために、だいたい100分の3の割合で元気なふ化したての幼虫を育てているんだよ。生命を大切にするための、私たちの腕の見せどころです!



ヒミツ! 裏側からコンニチハ



左の写真は「生態展示室」を裏側から見たもの。普段はバックヤードが見えないようにしてあるんだけど、たまにこうやって仕切りを外して、後ろから昆虫を見えるように動かしたり触ったりして、お客さんに変化を見てもらうようにしているんだよ。



生命と自然を学ぶ

伊丹市昆虫館

- ※飼育している昆虫は展示以外にも、幼稚園や小学校の体験授業にも使っています。
- ※昆虫の育て方や退治の仕方など、虫についての質問はお気軽にどうぞ。

昆陽池 3-1 ☎072-785-3582

9:30~16:30 (入館は~16:00)

火休。大人400円、中高生200円、3歳~小学生100円。

ヒミツ! チョウの幼虫のエサやり

チョウの幼虫へのエサやりは、毎日行う大切なお仕事。全12種類、約500匹の幼虫のエサを換えて、ふんを取り除きキレイにしているんだよ。担当のスタッフで手分けして午前中のうちには終わらせます。毎日やらないと幼虫が弱ってしまうので、休館日やお正月も必ず誰かがお世話をしているんだよ!



ヒミツ!



幼虫とさなぎのお部屋

幼虫とさなぎが育てられているのが「恒温室」。ここは一年中、気温が25度、湿度が60%、つまり夏の日と同じ環境が保たれているの。照明による光のサイクルも同じで、朝6時ごろには消灯。こうすることで、一年中チョウが成長し、羽ばたいていくんだよ。

私が
紹介しちゃいます!



伊丹市昆虫館学芸研究員の角正美雪です。これからとっても素敵な昆虫館のウラガワにご招待いたします! あと、年に数回「うらがわ探検」というイベントもやってるよ!

昆虫館の
ヒミツ。

特集

少年少女のあやうさと、 木の力強さと。

棚田康司「たちのぼる。」展
棚田康司さんインタビュー

たなだ・こうじ

1968年 兵庫県明石市生まれ（現在は神奈川県茅ヶ崎市在住）
1993年 東京造形大学造形学部美術学科Ⅱ類（彫刻）卒業
1995年 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了（深井隆研究室）
1999年以降 ミヅマアートギャラリーにて個展開催
2001年 文化庁芸術家在外研修員として7ヶ月ベルリンに滞在
2005年「第8回 岡本太郎記念現代芸術大賞」特別賞受賞
2008年 個展「十一の少年、一の少女」（ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡）
2010年「第20回 タカシマヤ美術賞」受賞
2011年 個展「〇とー（らせんとえんてい）」（スパイラルガーデン、東京）

諷刺とユーモア

伊丹市立美術館

宮ノ前 2-5-20 ☎072-772-7447

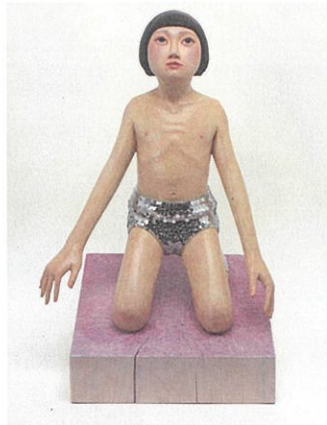
棚田康司「たちのぼる。」展

4月6日（土）～5月26日（日）。10時～18時。月休。

伊丹市立美術館 / 旧岡田家住宅・酒蔵。一般800円、大生450円、
中小生150円。伊丹市立美術館 072-772-7447



《くらおかみ》2012年
撮影：宮島径 ©TANADA Koji/
Courtesy of Mizuma Art Gallery



《小さな少女》2011年
撮影：宮島径 ©TANADA Koji /
Courtesy of Mizuma Art Gallery

少年少女を彫る意味

少年少女。

それは、彫刻家・棚田康司さんが一貫としてモチーフにしているものだ。棚田さんにとつて少年少女とは何の意味を持っているのだろうか。

「子どもでも大人でもない年代ですね。歳で言うとも8歳くらいから18歳くらいでしょうか。人間として一番美しい時期で、これからどう成長していくのか決まる時期だと思っただけですね。そんなあやうさを持つ姿を、力強い生命力を持つ木で表現したかったです」
そして、棚田さんは少し間を置いて付け加えた。

「人間に興味があったんです。

逆に言うと、自分という存在がなんなのかを投影しているのかもしれない」

棚田さんのルーツとは

棚田さんが生まれ育ったのは兵庫県明石市。そこに棚田さんのルーツを見ることが出来る。

「中学のとき電車通学をしてたんですが、海沿いを走るの向こうに淡路島が見えるんですよ。毎日毎日それを見ていました。今思えば、それが自分の作品のルーツなんじゃないかと思いません。淡路島って国生みの島って言われてるじゃないですか。そこには日本を作った神様がいて、その神様と人間の中間にあるようなものを、

少年少女という形で表現したというか」
棚田さんが生み出す少年少女たちが、どこか神々しく感じられるのは、そのためだ。

エポックなできごと

棚田さんは30歳を過ぎたころ、文化庁芸術家在外研修員としてベルリンに赴任していた。そのときのできごとが、その後の作風に大きな影響を与えたのだと言う。

「西洋に大きな憧れがありました。正直日本のことは軽視していたところがありました。けど、向こうの人は自国の文化にすごく誇りを持っていて、それを感じたときに、やっぱり自分の足元から生

まれているものを感じたりと見つけるべきなんだと気付きました。彫刻を作る素材も、一本の木から表現しようと思ったのもそのころです」

そんな棚田さんの作品をいよいよ、この伊丹で見ることが出来る。地元である関西での大きな個展は、これが初めてだ。

「やっぱり地元は水が合うというか、楽しいですね。酒蔵を含めて、伊丹市立美術館の空間自体の存在感と、作品の存在感との相乗効果を、どうやって生み出すか。本当に楽しみにしています」

木の生命感と自分の想いと。そして、あやうさと力強さと。それをしっかりと体感してほしい。展覧会だ。

伊丹と世界が

世界とつながる、伊丹のスポットをご紹介します

コンニチハ!

長寿蔵シヨップ

中央 3-4-15

☎072-773-0524 (第2火休)



ベルギーで一番人気のデュベル



小西酒造がベルギービールの取扱いを始めて今年でちょうど25年。ホワイトビールやフルーツビールなど様々なタイプがあるベルギービールは全部で1100種以上あり、直営の長寿蔵シヨップでは、約60種を販売する。日本で特に人気があるのが、爽やかフルーティなホワイトビールのVEDETT* (一本390円)。ベルギービール人気は年々盛り上がり、昨年東京で開催されたベルギービールウィークエンドには5日間で3万人が訪れた。2年前から輸入を担当するヨリス・ヴェルメレンさんは、各

チエリー風味のビールも！
さわやかベルギービールを
多種取扱い。

小西酒造(韓国国際部のヨリス・ヴェルメレンさん)

ぜひ色々なベルギービールを試してみたいですね！



地のビールフェアの試飲で、飲みやすく爽やかなベルギービールに驚くお客さんの反応が何よりも嬉しい。ベルギービールはベルギー人の自慢！だけど、一番口に合うのはやっぱり故郷ウエストマール(アントワープ郊外)のビールだそう。

(取材/伊丹アイフォニックホール 内山真理子)

* 正式名称は VEDETT EXTRA WHITE

世界の伝統音楽・踊り

伊丹アイフォニックホール 宮ノ前1-3-30 ☎072-780-2110



クリスマス会の様子。



人形劇の人形はみんなの手作り。「もこもこ」の皆さん。(全員ではないです)

サークル探訪



子育て支援が元気の秘訣!

子育て支援ボランティア「もこもこ」は、ラストホールの子育て支援ボランティア育成講座から発足したグループです。

子育て支援といっても託児ではなく、子育て中のお父さん・お母さんがお子さんと一緒に楽しめる親子遊びの企画を考えて運営するのが「もこもこ」です。乳幼児の親子交流や、講師を招いてベビーマッサージや歯の相談、クリスマス会や親子体操など、いつも大人気です。そんな「もこもこ」がなんと今年発足10周年を迎えます。大学で子育て支援の研究をしている方いわく全国的にも珍しいケースだとか。最近では学生さんが

フィールドワークの場として学びにやってきました。

10周年記念のイベントは現在企画中。元気な子どもたちが楽しんでくれることを想像しながらがんばっています。子どもが好きで「もこもこ」の活動をちょこっと手伝ってみようかなと思う方、いつでも見学にきてください。明るく元気で遊び心いっぱいいるメンバーがお待ちしています。



人気のベビーマッサージ講座。もこもこは先生のお手伝いとおふれあい遊びを担当。

スタッフさんに聞いてみた!

「もこもこ」のみなさんはこの活動をする事によって、面白い工作や遊びを覚えたり、また時々招く専門家からも多くを学ぶことができ、孫育てにも役立つ、と語ってくれました。地域の親子のために、いつも元気に頑張るその姿、私も見習わねば。頼もしい先輩お母さま方、これからもついていきますよ。

子育て支援ボランティア「もこもこ」

「もこもこ」は主に月曜日にイベントやミーティングを行っています。ご興味のある方はラストホールにお問い合わせください。

担当/ラストホール 山元佳代子

生涯学習の拠点

ラストホール

南野 2-3-25 ☎072-781-8877

6/1(土)

懐かしの洋楽をあなたに

ラストホール



皆でつくる歌声コンサートでおなじみのEMYと実力派バンドが、懐かしのあの歌、耳慣れたあの名曲をお届けします。EMYのやさしい歌声と魅力ある演奏で、青春の思い出がよみがえる…そんなひとときをあなたと一緒に。

ラストジャズ&ポップスライブ

6/1(土)14:00。一般1,200円、高校生以下・60歳以上1,000円(当日200円増)。072-781-8877

6/2(日)~6/16(日)

多彩な美術の祭典

美術館



年に一度の「伊丹美術協会展」が今年も開催されます。協会員による洋画・日本画・写真・書・彫塑・工芸・デザインと、多様なジャンルの作品を展覧。具象作品から抽象作品まで、多彩な出品作で活気あふれる展覧会をお楽しみください。

平成25年度 伊丹美術協会展

6/2(日)~6/16(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。月休。入場無料。072-772-7447

6/5(水)・6(木)

今、演劇界で最も注目される劇団

アイホール



撮影：奥野若菜

今年の岸田國士戯曲賞作家・岩井秀人が率いる人気劇団ハイバイ。引ききこもりだった作者本人の家族をモデルにした自伝的作品。祖母の認知症をきっかけに再集合し、関係を悪化させていく様子を「生々しいけど笑えるコメディ」で描く、スーパー家族劇。

ハイバイ『て』

6/5(水)19:00。6(木)14:00/19:00。一般3,000円(当日精算300円増、当日500円増)、学生2,500円。072-782-2000。

プレビュー

※イベントにより、未就学児の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各施設にお問い合わせください。

6/8(土)

J.S. バッハの名曲で舞う

アイホール



撮影：清水俊洋

能楽や朗読との共演作品を手がけ、言葉や音楽によって生まれる空間に着目する舞踏家ボヴェ太郎による新作公演。今回はバッハ晩年の傑作「ミサ曲短調」の世界に挑みます。ゆるやかに上昇してゆく古楽の響きと華麗な舞いにご期待ください。

アイホールダンスコレクション vol.70

ボヴェ太郎舞踊公演「響 J.S.Bach Messe h-moll」

6/8(土)16:00。一般3,000円、学生2,000円(当日各500円増)。072-782-2000。

6/9(日)

変幻自在! オカリナカルテット!

伊丹アイフォニックホール



オカリナ、ピッコロ、鍵盤ハーモニカに各種打楽器など…クラシックの名曲から世界の民謡まで、イギリス発4人組がお届けするチャームングなステージ! 曲目は「ピチカート・波尔カ」や「フィガロの結婚」序曲、シューベルト「ます」など。

チャカバッティ・オカリナ・カルテット

6/9(日)15:00。4,000円(当日500円増・全席指定)。072-780-2110

6/16(日)

ベートーヴェンの恋人とは誰!?

いたみホール



ベートーヴェンが遺した宛名のない「不滅の恋人」への手紙。彼にとって不滅の恋人とは誰だったのか…。徐々に明かされるその恋人とは! 人気俳優・西村雅彦の語りとおケストラ・アンサンブル金沢弦楽四重奏団の珠玉の演奏で、この謎に迫る!

「不滅の恋人」は誰だったのか!?

ベートーヴェンと三人の女たち

6/16(日)14:00。3,000円(全席指定・当日500円増)。072-778-8788

開催中~5/13(月)

春のむし、てんとうむし展、やっつるよ

伊丹市昆虫館



かわいい昆虫として親しまれている「てんとうむし」。身近な昆虫なのにあまり知られていない、てんとうむしのくらしを紹介します。生きたてんとうむしや約60種300点の標本もずらり。きつと春の自然観察が楽しくなるよ。

企画展「てんとうむし」

開催中~5/13(月)。9:30~16:30(入館は16:00まで)。月休。大人400円、中高生200円、3歳~小学生100円。072-785-3582

4/5(金)~4/7(日)

あの鉄道事故が題材の話題作、再演

アイホール



2006年に伊丹の高校生たちと共に創り上げた本作。生き残った少女が心のケアとして、もう一度上手く電車に乗る訓練(エチュード)を繰り返す。「止まってしまったその瞬間」を乗り越え、新しく生きていく希望をキャストも新たに描きます。

小原延之プロデュース「鉄橋の上のエチュード」

4/5(金)19:30。6(土)15:00/19:30。7(日)13:00。一般2,800円(当日200円増)、高校生以下1,800円。072-782-2000

4/6(土)~5/6(月)

100人の作家が考える「すくうかたち」

工芸センター



チョン・ユリ

色々な意味を持つ「すくう」という言葉をテーマにした作品展。手を合わせて祈るかたちを少し広げると、すくう形になることを私たちは知っています。ほんの小さなものから地球まで、工芸・美術・音楽などの作家100人による「すくうかたち」をご覧ください。

100人のすくうかたち展

4/6(土)~5/6(月)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。月休。無料。072-772-5557

アイテムおすすめのイベント

5/11(土)

詩と音楽と歌のコラボレーション

伊丹アイフォニックホール



谷川俊太郎 (撮影：菊池一郎) 谷川賢作 (撮影：片岡隆太)

詩人・谷川俊太郎とその息子が作曲家・ピアニストの谷川賢作を中心に、谷川親子が信頼をよせるミュージシャンが集まり、言葉と音楽が作り出す想像力あふれる世界を皆さんにお届けします。

朝のリレー~詩人・谷川俊太郎の世界を本人の朗読と息子、賢作のメロディーにのせて~

5/11(土)15:00。

一般3,000円、学生2,000円(当日各500円増・全席指定)。072-780-2110

5/11(土)~6/9(日)

ユニークであたたかい「木」の世界

工芸センター



木材物理学者で、木工作家としても活躍する「木のスペシャリスト」野村隆哉。木のおもちゃ、机、椅子など、使いやすく、あたたかみのある作品の数々が並ぶ。会期中には木工ワークショップなども。「木」の魅力満載のウッディ・ワールドをぜひ。

「木」から五感への提案

-野村隆哉とその仲間たちのウッディ・ワールド-

5/11(土)~6/9(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。月休。無料。072-772-5557

5/18(土)

酒蔵が育んだバロック音楽

伊丹アイフォニックホール



酒蔵で人気のテレマンシリーズが第20回を記念してアイフォニックホールへ! 酒蔵公演でソリストとして人気の高い、高田泰治(チェンバロ)、浅井咲乃(ヴァイオリン)&延原武春率いるテレマン室内オーケストラ。最高の響きのなかでご堪能ください!

テレマンのバロック音楽の宴

第20回記念スペシャルコンサート in アイフォニックホール

5/18(土)14:00。一般3,000円、学生(小学生以上)2,500円(全席指定・当日500円増)。072-778-8788(いたみホール)